

ヨルダン大学でキャリアデー開催

JICAが労働省向けに実施している『若年層へのキャリアカウンセリング能力向上プロジェクト』との協働で、ヨルダン大学の障害のある学生を対象としたキャリアデーを開催し、32人の学生が参加しました。障害学生支援課の協力を得て、大学のキャリアガイダンス事務所、労働省の障害者雇用局およびアンマン雇用局より提供しているサービスや障害者の就労ケースについての紹介を行いました。また、労働省が運営する職業斡旋サービスのウェブサイトNEESについても紹介しました。一方的な講義形式ではなく、対話形式で、また必要とする人への個別キャリア相談も行いました。



話に聞き入る参加者たち



CGO職員と労働省職員による発表

他団体によるピアカウンセリング

紛争被害者等の障害者に対して心理サポートプログラムを実施しているイタリアの団体UN PONTE PER (UPP)は、JICAが育成したピアカウンセラーを活用してピアカウンセリングを実施しています。2018年11月より3名のピアカウンセラーが有償ボランティアとして活動しており、これまでに約50回の個別セッションと6回のグループセッションが実施されました。ボランティアの一人であるワエドさんは、「ピアカウンセリングの提供を通じて、私自身が元気づけられることがたくさんあります。」と笑顔で話してくれました。



UPPとのミーティング風景(右から2番目がワエドさん)

ホテル向け障害者就労研修

障害者雇用局職員が、アンマン市内のホテルで障害者就労研修を実施しました。このホテルはNGOから派遣されるジョブコーチのサポートも受けながら障害者雇用を進めています。今回の研修では障害のある職員の上司を対象に実施され、障害者と同僚の双方がより円滑に働くために必要な情報と職場でのサポートやコミュニケーションの方法を提供しました。



セッション風景